

献身と情熱が生んだ  
霧島国際音楽祭を  
鹿児島観光の資源に

古木圭介さんは「霧島国際音楽祭」を生み出した一人である。第一回開催から関わり、霧島国際音楽祭友の会やジエスク音楽文化振興会の立ち上げにも尽力。30代からこれまで、霧島国際音楽祭とともに歩んできた。「17世紀から現代まで受け継がれているクラシック音楽の魅力を、全国でも稀少なスタイルを持つ霧島国際音楽祭を通じて多くの人に知ってほしい」。昨年9月、霧島国際音楽祭鹿児島友の会会長に就任。消えることのない情熱で、新たなビジョンを描いている。

霧島国際音楽祭 鹿児島友の会

会長 古木 圭介さん

Keisuke Kogi

## 友の会の役割について 教えてください。

霧島国際音楽祭には、支援する3つの「友の会」があります。そのうちの鹿児島友の会会長を、2012年9月に引き継ぎました。音楽祭発足から関わっており、事務局の一員として会員に関することを中心とした仕事をしていますが、会長は全体を考えて、友の会のビジョンを出す役割だと思っています。

マスタークラスの国際化は着実に進んでおり、受講生の約20%は外国人。しかし聴衆は地元が中心です。海外の音楽祭では国を越えてファンが集まり、観光・経済の面でも大きな力となっています。霧島国際音楽祭も名実ともに国際化させたい、そんな思いを強くしています。

まずは県民の皆さんにもっと知ってもらいたいこと。クラシック音楽は敷居が高いと感じている人も多いでしょうが、世界から一流の音楽家たちが集うこの機会にぜひ生演奏の良さを感じてほしいですね。霧島の豊かな自然風景と雰囲気音楽とともに楽しむ。そんなひと時が年に1回あるのも悪くないのでは。



また、大きな特徴として、コンサート後のパーティーで音楽家と直接話せる機会が挙げられます。これはとても稀少なスタイルなんです。さらに、民間が支えている音楽祭というのも全国的に珍しい。これからも霧島国際音楽祭だからこそその魅力を深め、多方面へアピールしていきたいと考えています。

## 音楽はどのような存在ですか？

音楽好きな母が弾くピアノの音を聴きながら育ちました。終戦後の貧しい時代にも、ごごを敷いた会場で行われたコンサートに連れられて行った記憶があります。私自身もピアノを習っていたのですが、小学校低学年でやめてしまいました。今思えば、続けていればよかったな(笑)。

でも、私の傍らにはずっと音楽があります。99歳の今でも音楽を愛し続けている母の影響が大きいでしょうね。クラシックだけでなく、ジャズやカントリー&ウエスタン、歌謡曲も好きですよ。じっくり聴くというよりは、BGMとして耳に入る感じ。読書しながら、車の運転をしながら…。一人の世界に浸りたいとき、頭や体が疲れているときの癒し効果もあると思います。

また、学生時代に山岳部だった経験から、今でも登山を続けています。あちこち

ち出かけて写真を撮ったりするのも好きです。大自然を目の前にして、「この景色にはどんな音楽が合うだろう？」と考えるのも楽しいんです。

## 霧島国際音楽祭の聴きどころは？

期間中は50ほどの公演があります。おススメは、クラシック初心者でも楽しめるスペシャル・ガラ・コンサート。今年はバッハの楽曲を迫力たっぷりに披露します。ガラというのはお祭りという意味。その名の通り、お祭り気分です。

また、親子で聴けるコンサートもあり、子どもから大人まで音楽に親しむことができます。鹿児島市内や沖永良部島への出前コンサートもありますので、この機会にぜひ聴いてほしいです。

自身が体験することで人生はより豊かになるもの。音楽を聴くこともそうです。まずは演奏会に出かけてみる。評論家めいた解釈はいりません。「迫力があつた」「心地よかった」「聴いたことがある」など、素直な感想でいいんです。まずは興味を持った公演に出かけてみてください。

## 霧島国際音楽祭をさらに生かすには？

長年、本業の観光業界で仕事をしてき

て実感したのは「景色は飽きる」ということ。鹿児島県は観光地として、素晴らしい素材を持っています。県外から訪れる方を案内するとき、桜島や霧島、指宿など自慢の景色を見せに行くといいと思います。しかしそこへ連れて行った後は？もし天気が悪くて景色が楽しめなかったら？

何度も行きたいと思わせるために必要なのは、歴史と文化。特に食文化に魅せられると、リピート率は高まります。鹿児島の豊かな食文化は大きな魅力。そして、音楽も文化の一つです。食と音楽は雨天でも楽しめる観光資源。私は友の会として、霧島国際音楽祭を組み込んだツアーを台湾や香港など東アジア向けに売り込むつもりです。

8月6日には東京オペラシティで「霧島国際音楽祭2013東京公演」が開催されます。宝山ホールでも行う下野竜也さん指揮のプログラムを演奏します。鹿児島が誇る霧島国際音楽祭の知名度アップにつなげたいですね。



鹿児島友の会・霧島友の会・牧園友の会が、霧島国際音楽祭30回を記念してみやまコンセールに寄贈したモニュメント「過去と未来」。